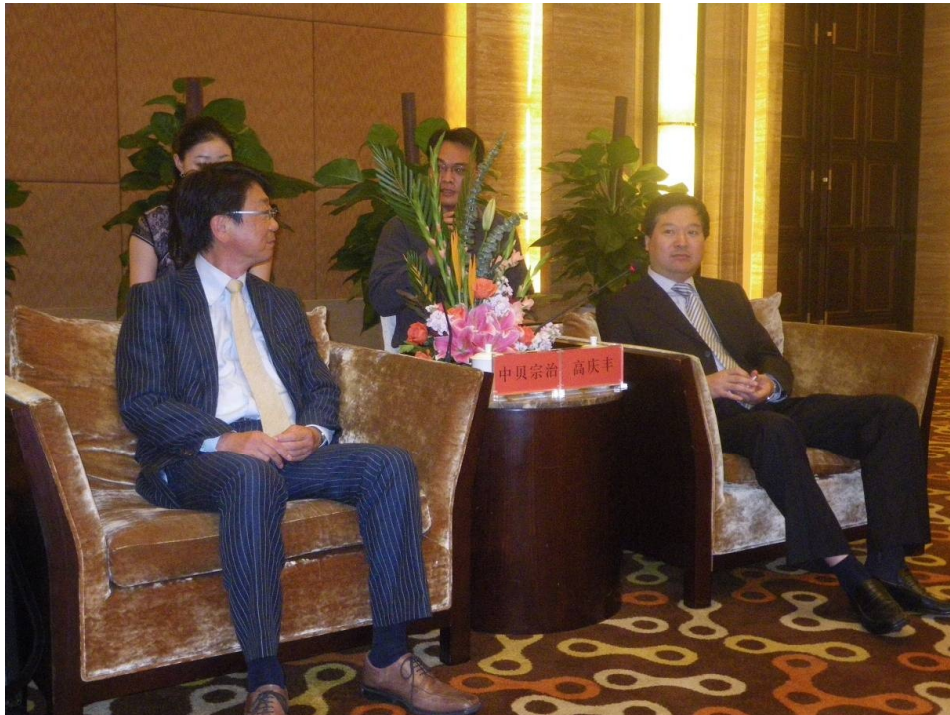


中華人民共和国浙江省慈恵市寧波杭州湾新区管理委員会 高（こう）副主任との対談

日時：平成 23 年 10 月 9 日（日）

会場：中国浙江省慈恵市慈溪恒元ホテル（慈溪恒元大酒店）

内容：慈恵市寧波杭州湾新区管理委員会の高（こう）副主任と中貝市長からそれぞれの取組みの説明を行った後に意見交換を進めた。



ラムサール条約事務局長のアナダ・ティエガ氏と中貝市長の対談

日時：平成 23 年 10 月 12 日（水） 同シンポジウム 2 日目

会場：中国江蘇省無錫市無錫ガーデンホテル（無錫錫州花園酒店）

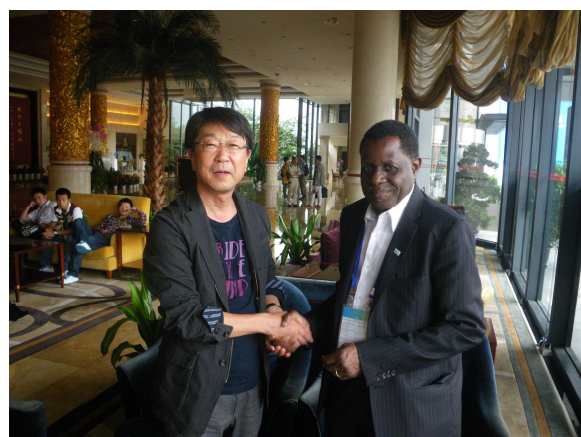
内容：アナダ・ティエガ事務局長に対して、中貝市長が豊岡の取組みについてアイパッドを利用して説明した後意見交換を行った。

<ティエガ事務局長の主な意見など>

- ・ 今後は都市開発の中でいかに湿地を守っていくかがキーポイントとなる。開発と保全の両立が重要。
- ・ 有機農法はコストもかかるがその分見返りも大きい。コウノトリ育む農法など豊岡が進める環境と経済の両立は持続的な発展には不可欠だ。
- ・ 鳥類の保護は人類の保護にもつながる。そして鳥がその指標ともなり得る。
- ・ 豊岡の取組みをグッドモデルとして具体的事例とあわせて発信し経験を共有すべきだ。特に様々な機関やマスコミと連携したほうがいい。例えば、I C L E I（Local Governments for Sustainability 持続可能性をめざす自治体協議会）に参加するなど。
- ・ 来年ルーマニアで開催されるラムサール条約第 11 回締約国会議（C O P 11）のテーマは 湿地 観光 レクリエーションの 3 つであり、豊岡での実践はこの 3 つの方向性と合致している。C O P 11 のサイドイベントでぜひ豊岡の経験を世界の都市に紹介してほしい。



アイパッドを使って豊岡の取組みを説明



アジア湿地シンポジウム無錫 2011 での中貝市長のプレゼンテーション

日時：平成 23 年 10 月 13 日（木） 同シンポジウム 3 日目

会場：中国江蘇省無錫市無錫ガーデンホテル（無錫錫州花園酒店）

参加者：約 100 名

発表のタイトル：The revitalization of our regional community and economy through stork reintroduction ~The Challenge for Toyooka City~

「アジア湿地シンポジウム無錫 2011」の分科会（湿地と観光 / 豊かな暮らしと湿地）において、中貝市長が英語で約 15 分間にわたり豊岡の取組みを発表した。

発表後には、会場の出席者からは次のような質問があった。

- ・ 豊岡の取組みを進めるなかで苦労したことは何か？
- ・ SATOYAMA イニシアティブとのつながりはどうか？
- ・ この豊岡の取組みを世界へどのように広げていくのか？
- ・ 国連の生物多様性の機関紙などで広く世界に紹介してはどうか？



中貝市長の発表の様子



中貝市長の発表の様子



中貝市長の発表の様子



分科会「湿地と観光 / 豊かな暮らしと湿地」